

彼方 【かなた】

校長通信
H30.10.23
Vol.20

【人との関わりの中で】



「宣誓！我々選手一同は、応援されるチームを目指し、つらい練習を乗り越えてきた仲間とタスキをつなぎます。

しかし十五人という壁を越えられず、応援という形でしか勝ちたいという気持ちをつなげない仲間がいます。今日は、そんな仲間や応援してくださっている人たちが見て、元気が出たり笑顔になる走りをすることを誓います！」平成最後の東葛駅伝大会は、主催者代表の方から両手でガッチリと握手を求められるほど感動的な大日向選手による選手宣誓で始まりました。

昨年度は、夏の全国大会で活躍した絶対的なエースに引っ張られ、完全優勝という結果が生まれましたが、今年度のチームには絶対的なエースはいません。ひとりひとりが自分を磨き、少しずつタイムを積み重ねていくチームです。ただし、他の学校なら確実にレギュラーになれる選手でさえ決定戦で悔しい思いをし、十五人の壁を越えられずに選手のサポートに回るような層の厚さがあります。選手になれなくても自分でできることを考えたり、昼休みに選手みんなで掃除をしたり、積極的に声を出して仲間



このように全校が一体となって取り組めるものがあることに改めて感謝し、さらに高めて

を応援したり、全員で苦しい合宿の練習を乗り越えたり、「東葛駅伝優勝」だけでなく「応援される特設駅伝部」という目標に向けて、本当に日々努力を積み重ねてきたチームです。その結果が、史上最多に並ぶ十二回優勝と「三連覇」という偉業につながったのです。でも、これは、決して出場選手だけでできたわけではありません。陰で支えてくれた人が大勢います。毎日一緒に練習した駅伝強化の仲間達、熱心に指導してくださる顧問の先生、いつも声をかけてくれていた担任の先生、各学年の先生、学級の仲間、そして何より毎日のケアを含め面倒を見てくれている両親やお家の人、練習の足音に朝起こされても「頑張れ！」と声をかけてくれる地域の方々、数え上げればきりが無いほど実によく支えられていることに「おかげさまで」と感謝の気持ちを持ちながら関わってきたからこそだと思います。白山中学校の教育目標は「みがき合い・支え合う、心豊かでたくましく生きる生徒をめざす」です。本校の特設駅伝の活動はまさに「みがき合い、支え合う」活動です。しかも選手が支えられていることに感謝するとともに選手の頑張りに勇気と元気をもらえることを誇りに思う心の豊かさを実感できる活動です。まさに私たちが目指しているものに他ならないのです。



在まで続けています。その理由は、東葛駅伝が部活対抗ではなく、学校対抗だからです。自分の母校を、自分の仲間を心の底から真剣に応援することで母校に誇りを持つという明快な理由があるからです。学校教育の持つ「人間教育」の側面がまさに全校応援の中に隠れていると思います。改めて応援されていること、応援していることを自覚し、人との関わりの中で自分が生かされていること学んでほしいと切に願っています。いずれにしても簡単にはなかなか為しえない「三連覇」という偉業に携われたこと、時を共にできたことを本当に誇りに思っています。白山中駅伝強化選手とその仲間達、全校の皆さんに改めて大きな拍手を送りたいと思います！



いきたいと強く感じています。

全校応援ができなくなってしまう学校も少なくありませんが、幸いなことに、本校は、全校応援に価値を見出し、今まで途絶えることなく、形を変えながらも現